

画像観察受託サービス

林純薬 ウエハー断面など

林純薬工業（大阪市）は、エッチング加工後のウエハー断面などを観察する受託サービスを開始した。テクノセンター（三重県多気町）にある超高分解能の走査電子顕微鏡（SEM）といった装置を使って画像を取得し、その結果を顧客に返す。数多く撮影しなければならなかったり、SEMを保有していなかったりするユーザーの需要を獲得する。同サービスを広め、ひいては林純薬が手がけるエッチング液や剥離液などの拡販につなげる。

機能性薬品の開発、評一ピスの提供に乗り出し、
師で培ってきた知見を生かした。他社の薬液で処理さ
かし、画像撮影し観察されたものであっても対応
する業務を請け負うユーザーする。

パターンウエハーの断面をはじめ、エッチング
加工後の基板、残膜など
の画像を取得し確認する



テクノセンター（上）に設置しているSEMなどを活用して、超高分解能画像を撮影する

うえで、テクノセンターに設置している各種装置を活用する。集束イオンビーム（FIB）と、0.4ナノメートルと世界最高水準の分解能を誇るSEMを組み合わせることで、より高精細な画像を取得することができ、倍率50〜9000倍のマイクロスコープも保有している。SEMについては、元素分析も行える最新鋭装置の購入を検討しており、導入することができれば、同サービス内容の充実を図れる。

同サービスの主体は画像の取得、観察だが、要望があれば薬液処理も行う。処理方法は浸漬と枚葉の2種類。浸漬処理は8センチの大きさのウエハーまで対応することができ、処理温度は0〜90度Cで、静止、攪拌、揺動、超音波、パドルなどで処理する。

一方、枚葉処理ではPTFB（ポリテトラフルオロエチレン）製チャンバーにより、酸性ならびにアルカリ性の薬液での処理が可能。構造は加圧圧送式で、ノズルタイプはフルコン、扇、ストリート。処理温度は室温〜65度C。薬液処理はイェロールームで実施することもできる。

同サービスは2月下旬に始めており、問い合わせは来ている。画像取得に要する作業時間や負担を減らせられるといった利点を訴求し、利用するユーザーを増やしていく。